

平成31年度第44回入学式式辞

校舎前の花壇のチューリップやパンジーなどの花々が咲き誇り、まさに春爛漫の頃を迎えました。本日ここに平成31年度第44回入学式を挙げるにあたり、本校PTA会長 坂本 鋼三 様をはじめ、多数のご来賓の皆様のご臨席と保護者の皆様のご参列をいただき、新入生92名を迎えられましたことは、校長として大変うれしく、厚く御礼申し上げます。新入生92名の皆さん、入学おめでとう。保護者、ご家族の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。只今の新入生の返事の仕方、目の輝き、そして凛々しい立ち居振る舞いは大変立派でした。きっと素晴らしい西中生になってくれると期待しています。

本日、大井西中生として新たな一歩を踏み出した皆さんは今、期待と共に不安な気持ちでいることでしょうか。どの部活動に入ろうか、友だちはできるだろうか、どんな先輩がいるのだろうか、そして中学校生活を楽しく送れるのだろうか・・・と心配していることでしょうか。そんな新入生のために私は昨年の入学式で、学校生活を幸せに送る大切な言葉を伝えました。それは「人の役に立とう」です。私は常々人は人や社会の役に立つ使命を持って生まれてきたと信じています。誰もが個性を持ち、自分の得意分野で人や社会のために役立つ運命があると捉えています。人は一人では生きていけません。だから支え合いはお互いを幸せにする好循環を生み出し、究極の自分のためになるのです。相手に与えた愛情や思いやりは必ずいつか自分に返ってきます。それが人の世の常です。即ち人の役に立つ行為は、究極の自分の幸せの近道だと伝えました。幸せな学校生活とは誰かが与えてくれるものではなく、自分の心の持ち方が決めることをお伝えしました。

そして今回、新たな言葉を新入生に贈ります。それは「他人の喜びを自分の喜びとして喜べる人になろう」です。幸せな学校生活とは物事が自分の思い通りになることではありません。また自分一人ですることでもありません。「あなたがいて良かった」「あなたのお蔭で助かった」という感謝の言葉を言われたり、友だちに「ありがとう」「うれしかった」と言えたりする心の交流や豊かな人間関係の中で初めて幸せな学校生活が実現できるのです。これから始まる中学校生活の中で他の人の頑張りを心から応援してみてください。「よかったね」「すごいね」「ありがとう」という言葉がたくさん溢れる温かな教室や学校からは絶対にいじめは起こりません。そんな日々が一日も早く来ることを願っています。

保護者の皆様、本日より大切なお子様をお預かりいたしました。本校のすべての教職員がお子様の命を守り、安心・安全な学校生活を送れますように心を大切に教育を行ってまいります。ただし子どもたちの育ちの場は学校だけではありません。学校・家庭・地域の皆さんの連携が極めて重要であり、お互いを尊重し、補完し合いながら信頼関係を築いて初めて効果が上がるものと考えます。

本年度から始まる地域協働学校の取組等でもその輪を広めていくつもりです。

最後に新入生の皆さんに知っておいてほしいことがあります。本日の入学式を迎えるに当たり、上級生が皆さんのために学校を磨き、教室を飾り、体育館を整え、歌声を響かせ、心温まる出会いの場を作ってくれました。私は上級生の皆さんに心から感謝しています。また本校の先生方も夜遅くまで入学式に向けて様々な準備をしていました。また様々な面で学校を支えて下さるPTA・学校応援団・各自治会の皆様がいます。校長として感謝とともに誇りを感じています。大井西中学校にはこんな素敵なお上級生や先生方や地域の皆様がいます。安心して学校生活を送ってください。

結びにこれからも本校は保護者や地域の皆様と力を合わせて子どもたちの笑顔あふれる温かく温もりのある学校づくりを進めてまいります。今後とも本校の教育活動に対しまして一層のご理解、ご協力をお願いを申し上げ、式辞といたします。

平成31年4月8日 ふじみ野市立大井西中学校長 山崎 祐一